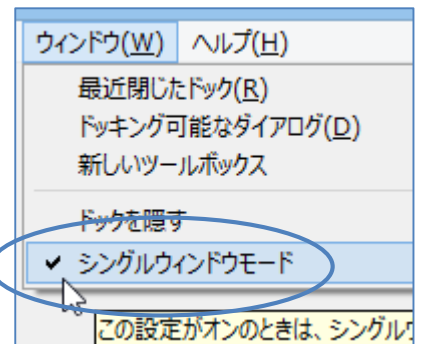


写真の縁ぼかし&切り抜き (GIMP)

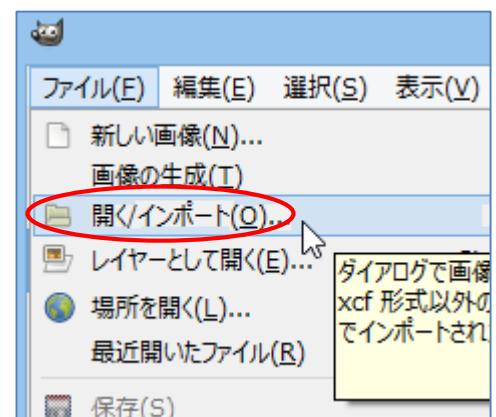
お気に入りの写真をカードやワード文書に添付するとき、好きな形に切り抜いたものにしたたり、またその写真の縁をぼかしたりすると、さらに写真がインパクトのあるものに生まれ変わります。GIMP を使っていろいろ作ってみたいと思います。

ぜひ ご自分のお気に入りの写真でやってみましょう。

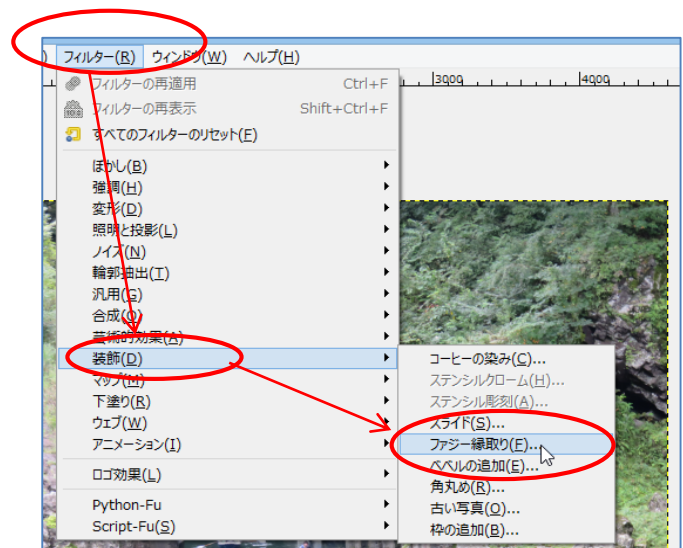
1. 写真のふちを白くぼかす矩形の簡単な方法です。
GIMP を立ち上げ、シングルモードで作業をします。
(ウインドウ[メニュー]→シングルウインドウモードにチェックを入れます)



- ①ファイル[メニュー]→開く/インポートから画像を読み込みます。



- ②フィルター[メニュー]→装飾→ファジー縁取りをクリックします。



- ③ 枠の大きさを、100 と入力してOKをクリックします。(ダイアログが画面後ろに隠れて見えない場合が多いので、そのような場合はタスクバーに追加表示されている GIMP アイコンをクリックすると前面に出てきます。)

しばらくするとこのようにグリーンの帯になり、拡散させています、ガウスぼかしと変化しますので待ちます。

- ①. 画像が大きいと上部に「応答なし」と表示され、グリーンの帯になかなか変化しませんが、我慢して待って下さい。

- ②. 枠の大きさをここでは、100としていますが、好みに画像の 1/20 くらいまでをめやすに設定するといいでしょう。



完成



- ④ 出来た画像を保存します。

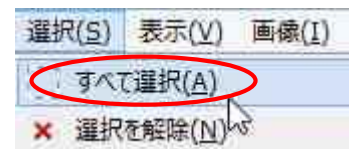
ファイル[メニュー]→名前を付けてエクスポート→保存先を確認し、名前を変更→左下方の+ファイル形式の選択をクリック→拡張子 **png** を選択、名前の変更が完了したことを確認→下段のエクスポートをクリック、開いたダイアログのエクスポートをクリックで保存できます。

白色背景に使う場合はこのままでも良いのですが、色付き背景に重ねるとこのようになってしまうので、周囲を透明なふちにしたいほうが都合が良いことが多いでしょう。

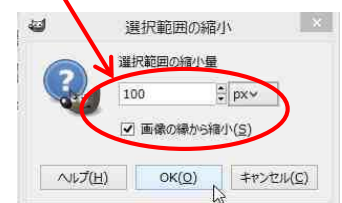


2. それでは、写真の周囲を透明なふちにする方法をやってみます。
画像を取り込みます。

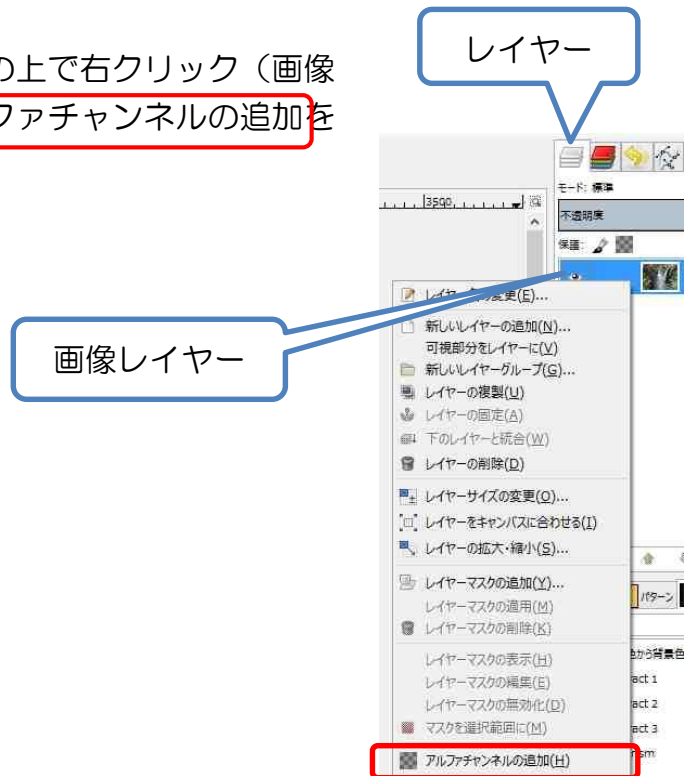
① 選択[メニュー]→すべて選択をクリックします。
これで画像の周囲の点線が動きます。



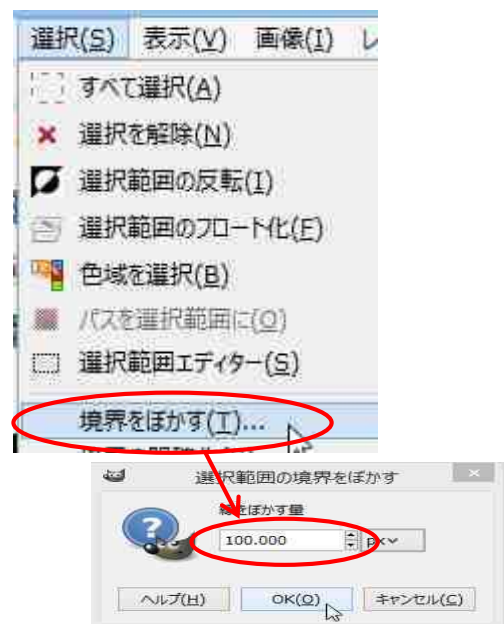
② 選択[メニュー]→選択範囲の縮小をクリックします。
ダイアログで 100px に設定、画像の縁から縮小のチェックを確認後、OKをクリックします。
このときは、画像の内側の点線が動き出します。
ここでも画像が大きいと時間がかかります。
気長に待ちましょう。



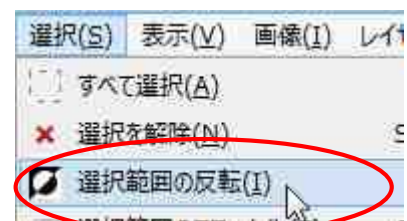
- ③ドックのレイヤーの画像レイヤーの上で右クリック（画像レイヤーがブルーに変化）→**アルファチャンネルの追加**をクリックします。



- ④選択[メニュー]→境界をぼかす をクリックします。
開いたダイアログで 100px に設定、OK をクリックします。



- ⑤選択[メニュー]→選択範囲の反転をクリックします。
これで**画像の周囲と内側の両方の点線**が動きます。
⑥Delete をクリックで、画像の周囲が灰色の市松模様に変化、透明化されたことが分かります。
⑦選択[メニュー]→選択の解除 をクリックします。
内側の点線が消えます。



- ⑧出来た画像を、名前を変えて、拡張子 **png** に変更して保存します。

色付き背景に重ねると、このようにぼかしたふちが背景と同化して、趣のあるものになります。

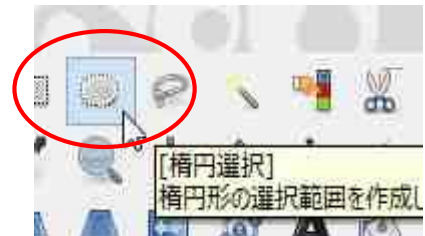


3. 同じようにして、画像を楕円形に切り抜いたふちぼかしを作ってみましょう。
貼り付けに使い勝手のいい透明なふちで作成します。
また、画像を取り込みます。

①画像レイヤーの上で右クリック→アルファチャンネルの追加をクリックしておきます。

②ツールボックスの楕円選択をクリックします。

ウインドウの画像の上でクリックして、斜め下にマウスをスライドさせながら好みの範囲を選択します。楕円の内側をクリックで、範囲が確定するので、それまではやり直しが出来ます。



③選択[メニュー]→境界をぼかす をクリック、ダイアログで 100px に設定します。

④選択[メニュー]→選択範囲の反転をクリックします。

⑤Delete をクリックで灰色の市松模様が表れて透明化の確認、選択[メニュー]→選択の解除で出来上がりです。

⑥保存には、保存先、名前の変更、拡張子 png を忘れないようにします。



色付き背景に重ねてみるとこのようになります。



4. 次は、バレンタインデーにぴったりのハート形 (♥、♡) に切り抜いてみたいと思います。カードなどに張り付けるのに使い勝手のいい境界を透明化、ぼかしたものにしようと思います。文字にある♥や♣や♦や♠を利用する方法でやってみます。

♥にピッタリの画像を取り込みましょう。

- ①ツールボックスのテキストツールをクリックします。
- ②ツールオプションのテキストフォントから日本語を選びます。「永」のどれでもOKです。
- ③サイズは、画像の中におさまる大きさに設定してください。



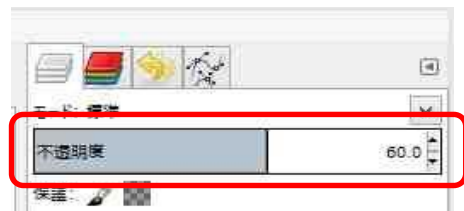
- ④画像上でクリックして、テキストツールを有効にします。



- ⑤ひらがなで「ハート」と入力します。
♥に変換し、エンターで確定、大きい♥になります。



- ⑥ドックにある不透明度を、60.0にスライドと、♥が少し透明化され、画像がうっすら見えてきます。
「移動ツール」で画像から外れていたらもどし、好みの位置に移動してください。



拡大・縮小ツール

移動ツール

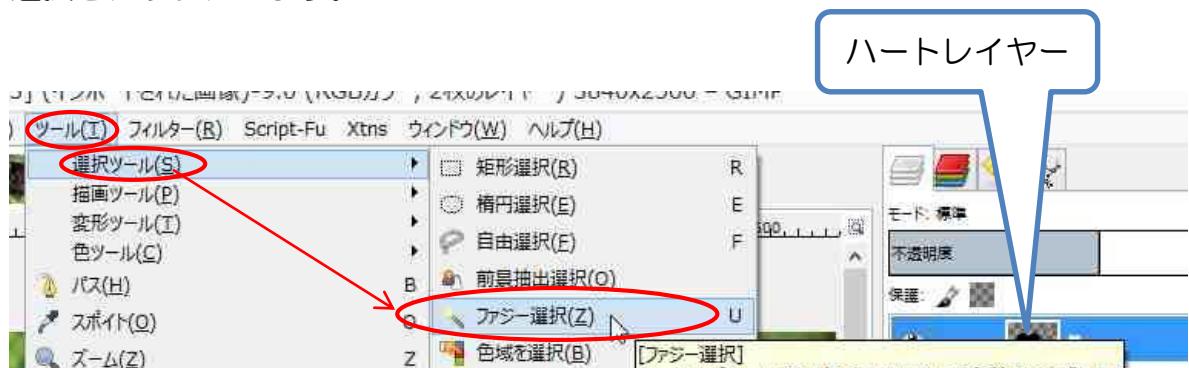


⑦♥の形も「拡大・縮小ツール」で変化させることができます。



縦長♥の縦を少し縮めてみました。ご自分のPCにある♥で好みのものを選び、調整してみてください。



⑧ハートレイヤーを選択した状態で、ツール[メニュー]→選択ツール→ファジー選択をクリックします。



⑨画像上に出来た♥をクリックすると、ハートの周囲の点線が動きます。

- ⑩画像レイヤーを選択、右クリックで下方のアルファチャンネルの追加をクリックします。

- ⑪選択[メニュー]→境界をぼかす→ダイアログで 100px に設定
→OK、これで縁にぼかしが出来ます。
選択[メニュー]→選択範囲の反転をクリックして、
delete を クリックします。

- ⑫画像レイヤーを選択して、 をクリックで
画像レイヤーを一番上に移動、 に切り抜かれた元の
画像がでてきます。



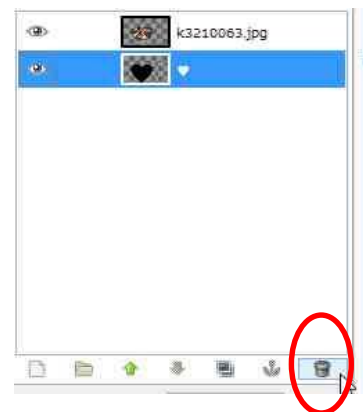
- ⑬選択[メニュー]→選択を解除 をクリックします。

これで点線が消えます。

- ⑭ハートレイヤーを選択します。

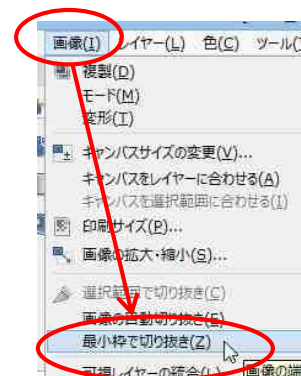
下段右端の削除マークをクリックで削除します。

ハートに切り抜いた画像の縁をぼかしたものが出来ました。



- ⑮画像レイヤーを選択した状態で、

画像[メニュー]→最小枠で切り抜きをクリックします。



⑩同じように、拡張子 **png** で、名前を変更、保存先の確認で保存します。



このようにぼかしの作品を、工夫してカードなどに張り付けてみてはどうでしょう

